**日報**

2023年08月24日

氏名：小松大二

|  |
| --- |
| ■目標  ・Problem14の問題をすすめる  ・Problem15に取り掛かる（14が終わり次第） |
| ■作業内容  ・Problem14の問題を進める  ＊課題4「1つ前の行で行った演算の結果を加算したものも一緒に出力する」  　→　完了  ・Problem15の問題に取り掛かる  ＊問題１「NestSearchを使用して、nest配下のファイルも対象とせよ」  →　完了  ＊問題2 「ファイル内の文章について、「。」の後は改行して出力する」  →　作業途中 |
| * 習得したこと   ・ブレークポイントで止めた状態でデバックを実行し、確認したい変数を範囲選択することで、その変数の中身を確認することができる  ・デバックを実行してみたことで、execStreamメソッドとexecListメソッドを最初に実行したとき、既にpreviousResultの中に2が入ってしまっていることを確認でき、このことが原因で csvファイルの１行目の、前の行を加算した結果だけ正常に表示されず、本来なら３と表示されるはずが５と表示されてしまう現象が起きてしまっていたことを理解できる  ・previousResultというクラス変数はそのまま使い、各メソッドの先頭でpreviousResult = 0と初期化することで、どのメソッドでも正常にその行の演算結果と、1つ前の行の演算結果をその行の演算結果に加算したものを表示することができる  ・SingleSearchクラスは指定されたディレクトリ直下にあるもの、つまり一つの階層からしか探すことができないけど、NestSearchクラスは、指定されたディレクトリ内の全ての階層にわたって探すことができることを理解できる |
| * 感想   今日もProblem14の課題を進めました。  昨日はProblem14の課題4に取り組んでいたのですが、プログラムを書いて実行してみた結果、一応動いてはいても、csvファイルの１行目の、前の行を加算した結果だけ正常に表示されず、本来なら３と表示されるはずが５と表示されてしまう現象が起きてしまい、解決できず終わっていました。その後、佐藤さんに日報にて助言をいただき、その助言に従いデバックで変数previousResult の中身を確認してみました。実行してみた結果、execStreamメソッドとexecListメソッドのpreviousResultの中身に、2が入ってしまっていることが確認できました。既に2が入ってしまっていることで、csvファイルの最初の行の加算結果だけ想定と違うものになってしまっていたことが理解できたので、それぞれのメソッドの先頭で、previousResult = 0と初期化を行う処理を追加しました。その結果、どのメソッドでも想定通りの動きをして、無事その行の演算結果と、1つ前の行の演算結果をその行の演算結果に加算したものを表示することができました。どのメソッドでも、最初に実行したときのpreviousResultの中身は0に違いないと昨日の時点では思い込んでしまっていたので、次にこのようなことが起きたら、変数の中身を確認してみること・必要であれば変数を初期化する処理を書くことを覚えておこうと思います。  次にProblem15に取り掛かりました。問題１は「NestSearchを使用して、nest配下のファイルも対象とせよ」というもので、これはnew SingleSearchとなっている部分をnew NestSearchに書き換えればいいということはすぐにわかりました。しかし、初見でこの問題を見たときの自分は、なぜ書き換えるのか、この二つのクラスの違いはなんなのかを理解できていなかったので、ただ書き換える前に、この二つのクラスについて少しでも理解してから書き換えようと思いました。それぞれのクラスの中身を読んでみて、SingleSearchクラスは指定されたディレクトリ直下にあるもの、つまり一つの階層からしか探すことができないけど、NestSearchクラスは、指定されたディレクトリ内の全ての階層にわたって探すことができることが分かりました。ここが分かったことで、なぜSingleSearchクラスではin\nest配下のファイルが対象とならないかを理解することができました。理解できたうえで、new NestSearch に書き換えることができたので嬉しかったです。  次に問題2に取り組みました。ファイル内の文章について、「。」の後は改行して出力するという問題で、最初はなにをしていいのか分からず悩みましたが、この問題は、まずファイル内を読み取って、その後、そのファイル内を編集して出力するという処理が必要になってくると考えました。そのため、Problem14で使用したBufferedReaderとBufferedWriterが使えるのではと思い付き、Problem14に書かれていたものを参考に書いていくことにしました。形の部分だけ書いて、実際に処理を行う部分はまだ書けていないので、明日考えて書いていこうと思います。 |